

# ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 417



搭載直前の「このとりの」モザイクポスター（後ろに見えるのは「このとりの」2号機を覆うフェアリングの先端）（出典：JAXA）

## トピックス

### 「このとりの」2号機の準備完了、打上げは1月20日午後3時29分に設定

種子島宇宙センターの大型ロケット組立棟（VAB）では、1月11日から12日にかけて、打上げ直前に積み込む必要のある実験試料や宇宙食など、最後の物資を宇宙ステーション補給機「このとりの」2号機（HTV2）の補給キャリアと圧部へ搭載する作業が行われました。

1月11日には、物資のひとつとして「このとりの」モザイクポスターが搭載されました。このポスターは、2010年10月16日に開催された筑波宇宙センター特別公開にご来場いただいた方々の声援と笑

顔から作られたもので、ポスターの裏には、HTVプロジェクトチームによる寄せ書きが添えられています。

物資の搭載完了後、1月12日に「このとりの」2号機の補給キャリアと圧部のハッチが閉じられました。その後、打上げ前の機体の最終点検やバッテリーの補充電を行い、打上げに向けた準備が整いました。「このとりの」2号機は、1月20日午後3時29分に種子島宇宙センターから打ち上げられ、1月28日に国際宇宙ステーション（ISS）に結合する予定です。



モザイクポスターを囲んで記念撮影をするHTVプロジェクトチーム（出典：JAXA）

#### Website info

HTV2ミッションページ  
<http://iss.jaxa.jp/htv/mission/htv-2/>

### 平成22年度第1回宇宙医学生物学研究ワークショップ開催

1月13日、東京都港区の301新橋ビルで、平成22年度第1回宇宙医学生物学研究ワークショップが開催され、多くの参加者でにぎわいました。

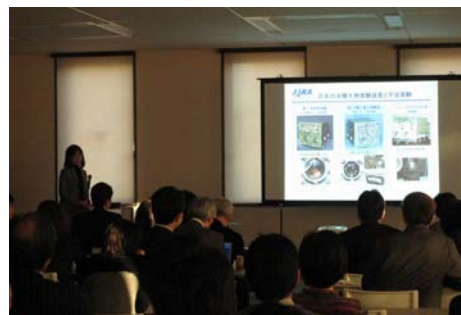
ワークショップでは、「魚を利用した宇宙医学生物学実験」をテーマに、宇宙実験の課題や展望、今後の宇宙実験の方向性などについて活発な討議が行われました。

第2回目のワークショップは、「宇宙と

健康増進の取り組み」をテーマに、1月31日に開催します。参加申し込みについてはホームページをご覧ください。申込み締切りは1月27日午後5時です。皆様のご参加をお待ちしています。

#### Website info

平成22年度宇宙医学生物学研究ワークショップ  
[http://iss.jaxa.jp/topics/2010/12/igaku\\_ws\\_fy22.html](http://iss.jaxa.jp/topics/2010/12/igaku_ws_fy22.html)



平成22年度第1回宇宙医学生物学研究ワークショップの様子（出典：JAXA）



## マランゴニ対流実験準備、Hair 実験のサンプル採取などを実施

「きぼう」日本実験棟船内実験室では、1月18日から19日にかけて、「マランゴニ対流における時空間構造」実験の第2シリーズの開始に向けた準備作業を行っています。この実験は、流体実験ラックの流体物理実験装置 (FPEF) を使用して、1月21日から開始する予定です。

そのほか、1月15日には、「長期宇宙

在宇宙飛行士の毛髪分析による医学生物学的影響に関する研究」(Hair) の一環として、宇宙飛行士の毛髪の採取を行いました。この実験は、宇宙環境が人体に及ぼす影響を毛髪分析から評価し、宇宙飛行士の健康管理に役立てることを目的としています。

「きぼう」船外実験プラットフォームで

は、宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA-AP) と全天 X 線監視装置 (MAXI) の観測運用が続けられています。

### Website info

マランゴニ対流における時空間構造

<http://kibo.jaxa.jp/experiment/theme/first/marangoni/>

「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)

<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

## STS-133 ミッションの準備状況

### NASA はディスカバリー号とエンデバー号の次の打上げ目標日を決定

NASA は、米国時間 1 月 13 日に開催されたプログラム要求管理会議 (PRCB) で、スペースシャトル・ディスカバリー号の打上げについて、外部燃料タンク (ET) の中間タンク (ET 内の液体酸素タンクと液体水素タンクを結合する構造物) の補

強修理に時間を要するため、2 月 25 日午前 6 時 50 分以降を目標とすることを決定しました。

なお、ディスカバリー号の打上げ延期に伴い、スペースシャトル・エンデバー号 (STS-134 ミッション) の打上げも 4

月 20 日午前 8 時 48 分以降に延期されました。

### Website info

国際宇宙ステーションの組立フライト ULF5 (STS-133)

<http://iss.jaxa.jp/iss/ulf5/>

## 今週の国際宇宙ステーション



### 「こうのとりの」2号機の到着に向けた準備や ISS のリブーストなどを実施

第 26 次長期滞在クルーは、ロシアの船外活動に向けた準備や、宇宙ステーション補給機「こうのとりの」2号機 (HTV2) の到着に向けた作業などに忙しい日々を過ごしました。

ケリー宇宙飛行士は、「こうのとりの」2号機が結合する「ハーモニー」(第2結合部) 下側の共通結合機構 (CBM) の動作確認を行いました。コールマン、ネスポリ両

宇宙飛行士は、「こうのとりの」2号機を ISS のロボットアーム (SSRMS) で把持する操作の訓練などを行いました。

1 月 13 日、プログレス補給船 (39P) を使用した ISS のリブースト (軌道上昇) が行われ、ISS の平均軌道高度は約 2.4km 上昇しました。これにより、ISS は「こうのとりの」2号機と、スペースシャトル・ディスカバリー号 (STS-133 ミッション) の

到着に適した軌道高度に引き上げられました。

### Expedition 26 Crew

ISS 滞在 101 日経過

スコット・ケリー (NASA)  
アレクサンダー・カレリ (ロシア)  
オレグ・スクリポチカ (ロシア)

ISS 滞在 31 日経過

ドミトリー・コンドラティエフ (ロシア)  
キャスリン・コールマン (NASA)  
パオロ・ネスポリ (ESA)

more information



- ▶ 宇宙ステーション補給機「こうのとりの」2号機 (HTV2) の打上げや国際宇宙ステーション (ISS) への結合の様態をライブ中継します！  
<http://iss.jaxa.jp/htv/mission/htv-2/library/live/>  
インターネットやケーブルテレビで中継するほか、JAXA 施設や科学館などでパブリックビューイングを行います。詳細はホームページをご覧ください。
- ▶ 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センターからアンケートご協力をお願い (2 月 14 日 (月) まで)  
[http://iss.jaxa.jp/questionnaire\\_110111.php](http://iss.jaxa.jp/questionnaire_110111.php)  
ホームページの情報の充実とより分かりやすい発信のため、アンケートを実施しています。多くの皆様のご意見をお待ちしています。

## ISS・きぼうウィークリーニュース 第417号

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール [kibo-pao@jaxa.jp](mailto:kibo-pao@jaxa.jp)

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。